

平成23年度

第29回 インテリアコーディネーター資格試験

二次試験 論文・プレゼンテーション

課題用紙

(試験時間 180分)

(平成23年12月11日実施)

(試験上の注意)

1. 最初に課題用紙が1綴り，解答用紙が1枚および下書き用紙（論文用，プレゼンテーション用）がそれぞれ1枚ずつあることを確かめ，不足があれば速やかに挙手し，試験監督に申し出てください。
2. 受験票は机の上に出しておいてください。
3. 答案は鉛筆で記入してください（万年筆，ボールペンは不可）。
4. 試験中は直定規，三角定規，円定規，三角スケール，コンパス，消しゴム，字消し板，色鉛筆（12色以内），鉛筆削り，製図用ブラシおよび筆記用具（鉛筆・シャープペンシル）以外のものは使用を禁じます。したがって，円定規以外の型版（テンプレート）は使用できません。
5. 受験番号と氏名を必ず解答用紙に記入してください。
6. 試験内容の問合せには一切お答えいたしません。
7. 試験開始60分後から試験終了5分前までの間は，途中退室することができます。中途退室する方は，手をあげて合図をし，試験監督に解答用紙を手渡して，静かに退室してください。
8. 試験終了前の5分間は退室できません。
9. 課題用紙および下書き用紙は持ち帰ってください。

解答にあたって

課題Ⅰ論文および課題Ⅱプレゼンテーションの各設問への解答にあたって、次の点を参考にしてください。

- (1) 未記入の解答欄が生じないように、時間配分に注意してください。
(論文1時間程度、プレゼンテーション2時間程度)
- (2) 課題Ⅰと課題Ⅱの解答の間に、関連性を考慮する必要はありません。

[課題Ⅰ 論文]

■ 論文試験の解答に際しては、課題の文章をそのままぞって書き始めることをせずに、

- 1) 明確な文字で、2) 分かりやすい文脈を組み立て、3) 必要に応じ具体例をもって、指定された解答欄に記述すること。

設問—1

住まいの居室において、床・壁に自然素材を用いることの長所・短所を、コーディネーターとしてどのように考えるか、キーワードを参考にして約250～300字で解答欄1に記述しなさい。

(キーワード)*

- ・無垢板
- ・コルク
- ・漆喰
- ・珪藻土
- ・和紙

*：キーワードの全てについて記述する必要はない。

設問—2

寝室における収納について、コーディネーターとしてどのように考えるか、キーワードを参考にして約250～300字で解答欄2に記述しなさい。

(キーワード)*

- ・収納物 (寝具, 衣類など)
- ・収納方法 (季節への対応など)
- ・寸法
- ・建具 (折戸, 引戸, 開戸など)

*：キーワードの全てについて記述する必要はない。

1. 課題と解答例

[課題Ⅱ プレゼンテーション]

「タウンハウスのインテリアコーディネート」

タウンハウスに住む熟年夫婦から、図-1に示す住戸部分とバルコニーのインテリアコーディネートを依頼された。下記の条件により依頼主に説明するためのプレゼンテーション資料を作成しなさい。

1. 空間の条件

- RC壁構造3階建，2階住戸部分
- 平面および開口部の形式・位置・寸法は図-1に示すとおり。
- 開口部の形式・位置・寸法は変更できない。

2. 依頼主の要求条件

(1) LDへの要望

- 6人がくつろげるリビングの家具（ソファなど）と，6人で食事ができるダイニングセットを置く。
- 飾り棚を兼ねたTVボード（間口1,800mm）を置く。TVは42型とする。
- カップ類やグラス類を飾るキャビネットを置く。

(2) 寝室への要望

- シングルベッド2台を置く。
- 引出しキャビネット（間口1,200mm）が付いたライティングデスクを置く。
- 適切な収納（クロゼットなどを含む）を設ける。
- 快適な眠りのための照明およびウィンドウトリートメントとする。

(3) バルコニーへの要望

- テーブル・いすなどを置き，アウトドアリビングとして使えるように計画する。

設問—1 インテリア平面図の作成

解答欄1に，住戸部分およびバルコニーの平面図を作成しなさい（ハッチング部分を除く）。家具については寸法表示の必要はないが名称を記入すること。天井面に設置する照明器具がある場合は破線で図示すること。依頼主にインテリアのイメージを伝えるために色鉛筆で着彩すること。

設問—2 LDのインテリア立・断面図の作成

解答欄2に，図-1に示す切断位置から矢印の方向を見たLDの立・断面図を作成しなさい。図-2の表現例を参考にして，家具などインテリアの構成がよくわかるようにエレメントも表示すること。主要な寸法を記入すること。床・壁・天井の仕上材を記入すること。（着彩はしなくてよい）

設問—3 寝室とバルコニーのインテリア立・断面図の作成

解答欄3に，図-1に示す切断位置から矢印の方向を見た寝室とバルコニーの立・断面図を作成しなさい。図-2の表現例を参考にして，家具などインテリアの構成がよくわかるようにエレメントも表示すること。主要な寸法を記入すること。床・壁・天井の仕上材を記入すること。（着彩はしなくてよい）

図-1 インテリア平面図

- S = 1 : 100
- ハッチング部分は計画対象外

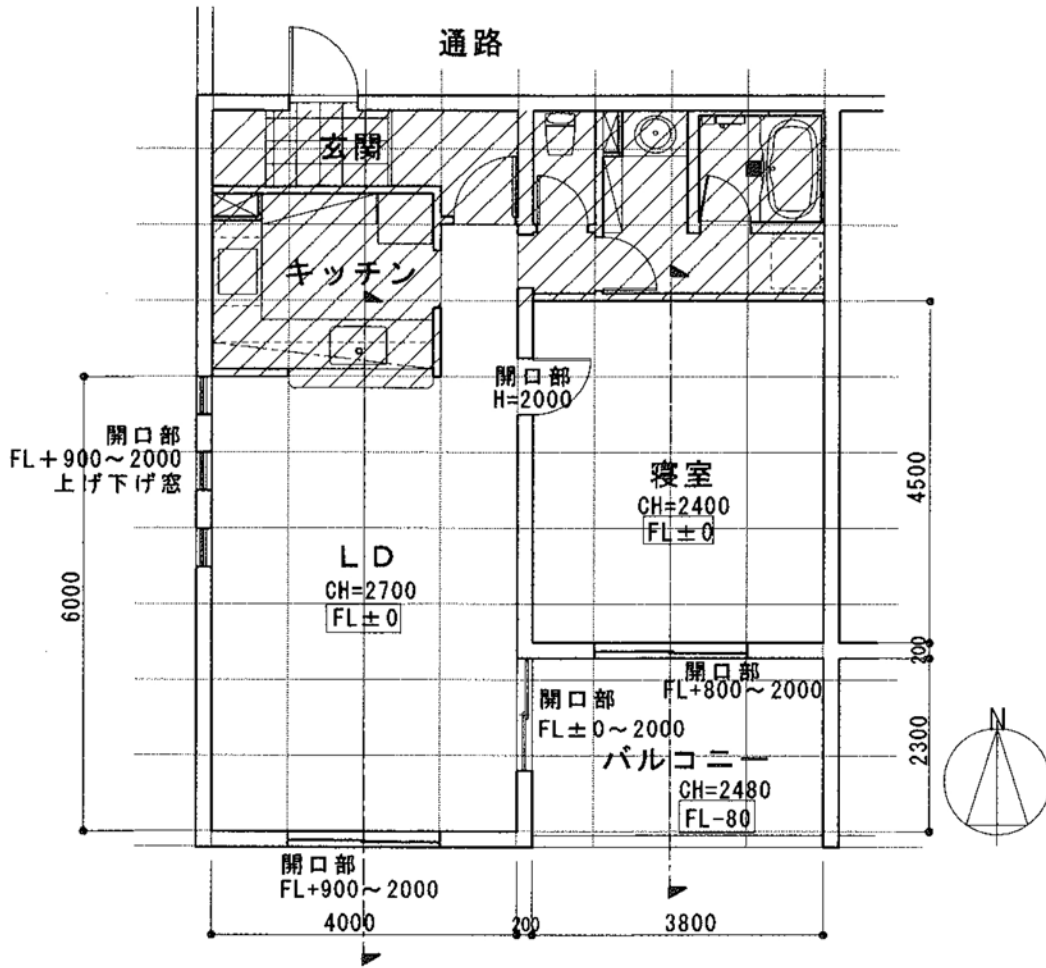


図-2 立・断面図のエレメント表現例

- S = 1 : 50

